

福島県卓球協会としての 『新型コロナウイルス感染防止対策』 取り組みについて

2021 年 5 月 19 日(一部改訂)a

一般社団法人福島県卓球協会 理事長 五十嵐修二

一般社団法人福島県卓球協会としての新型コロナウイルス感染防止対策についてまとめました。
(令和 3 年 5 月 19 日現在 一部改訂追記変更版)

『卓球関係者からは一人も感染者を出さない』ことを目的に 可能な限り、大会開催時における感染防止対策への対応・ご協力をお願いします。

【事前案内】

大会要項等で新型コロナウイルス感染防止対策について載せる
大会会場への入場制限についても明確に示す
可能な限り『無観客』とし、入場できる人数や条件などを明記する
『健康状態報告書』のフォームを添付し、体温測定結果を記載の上、提出を義務付ける
施設によっては 施設や行政へ提出するフォームが用意されている場合があります。
主催者側は大会要項等に明記し、事前に大会参加者関係者へ周知徹底する。

【主な特別ルール】

- ・握手無し/ラケット交換無し (接触感染防止対策)
- ・チェンジコート無し(不要な声出しが厳守される場合は要検討) (飛沫防止対策)
- ・試合前後、各コート備え付けのアルコールスプレーで手指消毒(接触感染防止対策)
- ・可能な限り 1 試合 1 球制 (又は数試合ごとに交換) (接触感染防止対策)
- ・受付・進行用 ビニールカーテンの設置 (飛沫防止対策)
- ・不要な声出しの禁止・大声、連呼などについては厳しめに指導 (飛沫防止対策)
- ・開会式前の練習時間 分割制 前半・後半で練習時間を分ける (飛沫防止対策)
- ・無観客 または 入場人数や対象者を制限する (飛沫防止対策)
- ・数試合ごと、時間後と または 前半終了後の 卓球台除菌 (接触感染防止対策)
- ・可能な限り ドア・窓の開放 (飛沫防止対策)
- ・その他 ガイドラインに則った 一般的な新型コロナ対策
- ・試合選手以外のマスク着用 (マスク+フェイスシールドなら万全) (飛沫防止対策)
- ・定期的な換気を行なう場合、試合途中でも中断する旨 周知徹底する

【環境整備】

- ・体育館入場の際し、非接触型体温測定器を設置、朝の検温を忘れた方用
- ・アリーナ出入り口に アルコールスプレーを設置し、出入りごとに手指消毒を行なう
- ・可能な限りの ドア・窓の開放時、必要に応じ 遮光用黒ビニールカーテンなどを準備する
- ・必要に応じ、大型送風機・扇風機を準備し、強制的に換気・排気できるようにする
- ・卓球台のサーフェイス除菌は 専用のスプレー・タオルや使い捨てペーパータオルを準備する
- ・忘れ物を入れるビニール袋を準備し、第三者が直接触れないようにする
- ・進行用テーブルや食事をするテーブルは 事前に除菌する
- ・食事をするテーブルには 除菌スプレーなどを設置する
- ・体育館やアリーナの人数制限については事前に確認し、ガイドラインに沿った運営を行なう

(各施設ガイドライン・制限の一例)

本宮市総合体育館	メインアリーナ	100 名までの制限	入場者の名簿提出
押切川公園体育館	メインアリーナ	100 名、サブアリーナ 70 名、ステージ上 10 名の制限	
猪苗代町総合体育館	観客席の50%の入場	約 998 名の50% 499 名以内	

など

【食事時の注意】

最も心配な部分は 食事の際の飛沫感染である

食事する際は

- ・『黙食』を 徹底し、話をしながらの飲食は絶対にしない
- ・前後左右、隣との席をできるだけ離れて座り 食事の際には廻りにも気をつける
- ・大会役員・スタッフの飲食も同様、密閉された部屋で会話しながらの食事は絶対にしない

などに気をつけて下さい

【卓球台除菌スプレー液】

卓球台のサーフェイスなどの除菌スプレーの作り方

次亜塩素酸水、次亜塩素酸ナトリウム、エタノールなどを試したが、日本卓球協会のアドバイスにより安価で作りやすく、安全であるため 次の除菌スプレーを紹介する。

<用意するもの>

食器洗い用洗剤（現在使用しているものは P&G JOY W 除菌・ ※LEMON）

※臭いで中身がわかるように LEMON にしている

スプレー(500CC くらいのもの)

<作り方>

水 : JOY を 100 : 1

(例) 5リットル(5000cc)の容器に JOY 50ccを入れる それをスプレー容器に移し、使用する

<使い方>

スプレーで 卓球台の表面に直接スプレーをし、できるだけ早めに 伸ばしながら拭き取る

もしくは タオルへ直接スプレーし、少しぬらした状態で表面を拭き取る

あまり びしょびしょにならないようにする

数分で自然乾燥するくらいにふき取る

乾きが遅い場合は 乾いたタオルで 再度ふき取る
卓球台の表面・側面・タオルをかけるバーなどをふき取る
卓球台の表面の他 タオルを掛ける 脇などのバーも除菌する

【試合球の管理】

一般的に新型コロナウイルスは プラスチック上では 3 日ほどで死滅するという報告があった。
これを参考に 『1 試合 1 球制』を採用し、その使用球は 4 日以上放置することで安全を確保する考え方である。

試合球に限らず、日々使用する練習球などについても同様に考えることができる。

ボールの除菌方法については 各種薬品を使用した場合、最終的には最後に水洗いが必要となるため、薬品での除菌・水洗い・乾燥やふき取り などの手間を考えると合理的ではないと考え 試合球の交換性を導入している

【ラケット・ラバーの管理】

試合後のラバー表面には もしかすると 新型コロナウイルスが付着しているかもしれない ということを考えれば その除菌も必要と考えられる

ニッターで発売中のラバークリーナー三品種は 除菌できる成分が入っていることを明記している

【ダブルス競技について】

2021 年 4 月より 日本卓球協会のガイドラインの改定により ダブルス競技ができるようになりました。その際の注意事項としては この新型コロナウイルス感染防止対策に準じて

- ・握手はしない
- ・チェンジエンド(コート)は行なわない
- ・最終ゲームの どちらかが 5 本を取ったときの レシーバーチェンジを忘れない
- ・試合前後の 審判・選手の手指消毒を行なう
- ・可能な限り 1 試合 1 球制を行なう

等により 安全・安心を担保しながら行なう事をお奨めします

【その他】

福島県・スポーツ庁・日本スポーツ協会・福島県体育協会 など 各種団体よりも 各種対策についての案内が発効されており、随時追加変更されております。

もちろん、それらの決まりや対策方法を遵守した上での 上記 卓球競技に特化した内容であります。

今後も 各種団体より様々な案内が発行されると思いますが 福島県卓球協会関連の卓球競技については この対策を遵守していただくことで より安全・安心な大会開催ができるものと確信しております。

【新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) COVID-19 Contact-Confirming Application】

厚生労働省から出されている スマートフォン・iPhone 用のアプリケーションでインストールしていると 利用者は、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した場合にその通知がきます。 接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

各卓球協会の関係者はいち早くインストールし、一人でお多くの方々へ導入されることをお薦め下さい。
近い将来、COCOA インストールが 体育館入場条件の一つになる可能性もあります。

アプリのインストール方法

・ App StoreまたはGoogle Playで「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。

[Google Play](#)

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>



[App Store](#)

<https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>



以上 現状 福島県卓球協会として取り組んできている内容についてご報告し、ガイドラインといたします。

ご不明な点につきましては 一般社団法人福島県卓球協会 までお問い合わせ願います。

一般社団法人福島県卓球協会 メールドレス : fukushima.tta-01@fukushima-tta.jp